

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

【校訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

枝光台中学校 第25回 卒業証書授与式



この3月は、別れと旅立ちの月です。新たに芽生えた夢や目標に向かって、私たち自身が、その第一歩を踏み出す季節です。このような中、本校では、3月12日(木)に地域の方や保護者の皆様のご臨席を賜り、第25回卒業証書授与式を執り行いました。保護者の皆様方にはこの3年間、本校教育へのご理解とご支援いただき心から感謝申し上げます。今後とも本校への応援を、どうぞよろしくお願いいたします。また、地域の皆様方の温かいご支援のおかげで、卒業生は立派に成長しました。とは言え、まだまだ未熟な面もっていますが「子どもたちは、地域の宝」です。今後も温かく見守っていただき、一人前の社会人として独り立ちできるよう、ご指導をお願いいたします。また卒業に向け、在校生は感謝とお祝いの気持ちを伝えようと3月6日に、3年生を送る会を行いました。在校生からの感謝の言葉は卒業生にもしっかり伝わっていました。卒業式前日には、校舎内外の清掃、教室の飾り付け等をしていただき、その甲斐もあり、すばらしい式を行うことができました。在校生の皆さんにも感謝を申し上げます。卒業生56名の輝かしい未来を祈念いたします。

修了式(3月24日)に話したこと(要旨)



○令和8年度より北九州市立中学校は二学期制になる。今日学級で通知表を渡してもらうが、次に皆さんが通知表を受け取るのは半年以上先の10月9日となる。従来の7月20日ごろではない。特に受験を迎える3年生は、通知表を見て勉強を頑張ろうと思っても間に合わない。「4月から全力でがんばる」ことがとても大切となってくる。

○また、来年の9月からは部活動地域展開で学校部活動は第三土、日曜日が休養日となり休養日が増える。秋休みも2日あり、これからの中学生は今まで以上に自分で使う時間が増える。この自分で使える時間をどのように使うか、これからの中学生はしっかりと考えてほしい。

○この時間を部活動の自主練にあてる人、地域の運動や文化活動に参加する人、地域ボランティアや読書活動など、様々な活動が想定される。これからの中学生には「どんな活動に参加するのか」「どんなことに時間を使うのか」「自分は何を大切にするのか」こうしたことを自分自身が考えて決める時代になってきている。だからこそ大切なのは、「みんながやっているから」ではなく、「自分はどうしたいのか」を考えること。また、選んだあとにうまくいかないことがあっても、それは失敗ではなく 経験ととらえること。選んで、やってみて、振り返って、また考える。この力は、大人になってからも必ず役に立つ。校訓にある「自律」が問われる時代になる。これからの皆さんの健闘を祈っている。